

東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会  
第4回会合

# 津波避難時の行動・意識に関する調査

1. 近年、発生した津波の概要 (p1)
2. 近年の津波避難時の行動・意識 (p2 ~ p10)
3. 今回の津波避難時の行動・意識 (p11 ~ p14)

# 近年、発生した津波の概要

1980年以降、津波警報は28件発表され、津波警報(大津波)<sup>\*</sup>は4件発表されている。

1980年以降、津波警報(津波・大津波)が発表された地震

発生日時	地震	M	グレード(最大)	予想高さ(*1)	警報発表時刻(最大のグレード発表時刻)(*2)	第一波到達時刻と地点(*3)	最大高さと地点		人的被害(名) (死者・行方不明者)	
1980年02月23日14時51分	北海道東方沖の地震	6.8	津波	-	23日15時10分	23日15時29分	根室市花咲	0.14m	根室市花咲	なし
1981年01月19日03時17分	三陸沖の地震	7.0	津波	-	19日03時25分	19日03時45分	大船渡	0.22m	釜石	なし
1982年03月21日11時32分	昭和57年(1982年)浦河沖地震	7.1	津波	-	21日11時45分	21日11時36分	浦河	0.78m	浦河	なし
1983年05月26日11時59分	昭和58年(1983年)日本海中部地震	7.7	大津波	-	26日12時14分(*4)	26日12時07分	深浦	1.94m	能代港	104名
1983年06月21日15時25分	青森県西方沖の地震	7.1	津波	-	21日15時37分	21日15時40分	深浦	0.42m	福島町吉岡	なし
1984年03月24日18時43分	択捉島南東沖の地震	6.8	津波	-	24日18時57分	24日19時31分	根室市花咲	0.10m	根室市花咲	なし
1984年08月07日04時06分	日向灘の地震	7.1	津波	-	07日04時14分	07日04時16分	日向市細島	0.14m	日向市細島	なし
1987年03月18日12時36分	日向灘の地震	6.6	津波	-	18日12時43分	観測なし	-	観測なし	-	なし
1989年11月02日03時25分	三陸沖の地震	7.1	津波	-	02日03時34分	02日03時40分	宮古	0.53m	宮古	なし
1993年07月12日22時17分	平成5年(1993年)北海道南西沖地震	7.8	大津波	-	12日22時22分	12日22時24分	江差	1.75m以上	江差	230名
1994年10月04日22時22分	平成6年(1994年)北海道東方沖地震	8.2	津波	-	04日22時28分	04日22時38分	宇登呂港	1.68m	根室市花咲	北方領土で死者・不明者
1994年12月28日21時19分	平成6年(1994年)三陸はるか沖地震	7.6	津波	-	28日21時23分	28日21時48分	宮古	0.50m	八戸、宮古	3名
1995年10月19日11時41分	奄美大島近海の地震	6.7	津波	-	19日11時49分	19日12時56分	串本町袋港	0.24m	中之島	なし
1996年02月17日14時59分	インドネシア、イリアンジャヤの地震	8.1(*5)	津波	-	17日17時30分	17日19時00分	石垣島石垣港	1.04m	父島二見	なし
1996年10月19日23時44分	日向灘の地震	6.9	津波	-	19日23時49分	20日00時10分	日南市油津	0.14m	室戸市室戸岬、土佐清水	なし
1998年05月04日08時30分	石垣島南方沖の地震	7.7	津波	-	04日08時39分	04日11時12分	枕崎	0.13m	館山市布良	なし
2002年03月26日12時45分	石垣島近海の地震	7.0	津波	2m	26日12時54分	26日13時11分	与那国島久部良、石垣島石垣港	0.06m	与那国島久部良	なし
2002年03月31日15時52分	台湾付近の地震	7.0	津波	1m	31日16時02分	31日16時05分	与那国島久部良	0.12m	与那国島久部良	なし
2003年09月26日04時50分	平成15年(2003年)十勝沖地震	8.0	津波	2m	26日04時56分	26日05時05分	厚岸漁港	2.55m	十勝港	2名
2004年09月05日23時57分	三重県南東沖の地震	7.4	津波	1m	06日00時01分	06日00時17分	那智勝浦町浦神	0.93m	神津島神津島港	なし
2006年11月15日20時14分	千島列島東方の地震	7.9	津波	2m	15日20時29分	15日21時34分	根室市花咲	0.84m	三宅島坪田	なし
2007年01月13日13時23分	千島列島東方の地震	8.2	津波	1m	13日13時36分	13日14時39分	根室市花咲	0.43m	三宅島坪田	なし
2010年02月27日05時31分	沖繩本島近海の地震	7.2	津波	1m	27日05時33分	27日05時52分	南大東漁港	0.13m	南城市安座真	なし
2010年02月27日15時34分	チリ中部沿岸の地震	8.8(*6)	大津波	3m	28日09時33分	28日12時43分	南島島	1.28m	須崎港	なし
2010年12月22日02時19分	父島近海の地震	7.4	津波	1m	22日02時28分	22日02時44分	父島二見	0.5m(*7)	八丈島八重根	なし
2011年03月11日14時46分	平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震	9.0(*6)	大津波	10m以上	11日14時49分	特定できず(*8)	-	9.3m以上	相馬	22,949名 (2011年6月20日時点)
2011年04月07日23時32分	宮城県沖の地震	7.1	津波	1m	07日23時34分	観測なし	-	観測なし	-	
2011年04月11日17時16分	福島県浜通りの地震	7.0	津波	1m	11日17時18分	観測なし	-	観測なし	-	

\*1 (-)は津波高さを予測せず(気象庁による津波の量的予測予報開始は1999年4月1日)

\*2 同じグレードで警報発表時刻が異なる場合は、発表時刻が最も早いものを採用。

\*3 津波注意報を発表した予報区を含む全ての予報区の中で到達時刻が最も早かった時刻を採用。

\*4 大津波は5区(東北地方の日本海沿岸)で12時14分に発表されたが、最も早い警報発表時刻としては、6区(新潟県から能登半島の輪島までの沿岸)で12時13分に津波の津波警報を発表している。

\*5 USGS(アメリカ地質調査所)によるMwを使用した。

\*6 Mw(気象庁による)を使用した。

\*7 巨大津波観測計による計測値であり、その観測精度は0.1m単位。

\*8 地震の揺れにより生じた潮位の変動等が含まれているほか、地盤沈下の影響も受けている可能性があり、特定できない。

※以降は大津波警報と略記

出典: 気象庁資料、人的被害は東北地方太平洋沖地震以降は緊対本部取りまとめ資料、それ以外は平成23年理科年表

# 近年の津波避難時の行動・意識(1982年浦河沖地震)

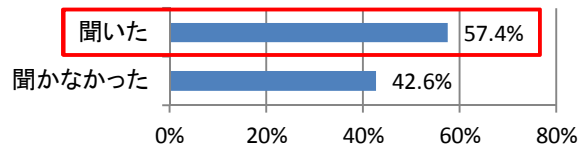
- ・避難指示を見聞きした人は約60%であり、**避難した人は1%程度**であった。
- ・津波警報を見聞きした人の約半数は、津波が来るとは思わなかったと回答している。
- ・浦河町は、**過去何度も津波警報等が発表されたが、重大な被害を受けた経験がない**ため、**住民が大きな津波が来襲することを予想しなかった**可能性が指摘されている。

## 1982年浦河沖地震における調査結果

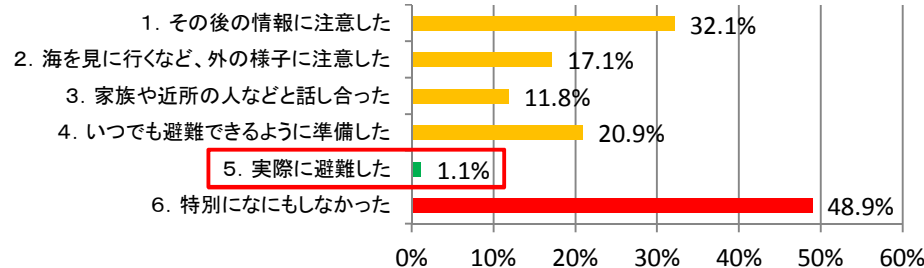
出典:『1982年浦河沖地震と住民の対応』(東京大学新聞研究所報告書、1982)

【調査対象】浦河町内において比較的被害の大きかった地域に居住する20歳～69歳の男女1,100名。  
 ※浦河町:震度6、最大津波高0.8mを観測。

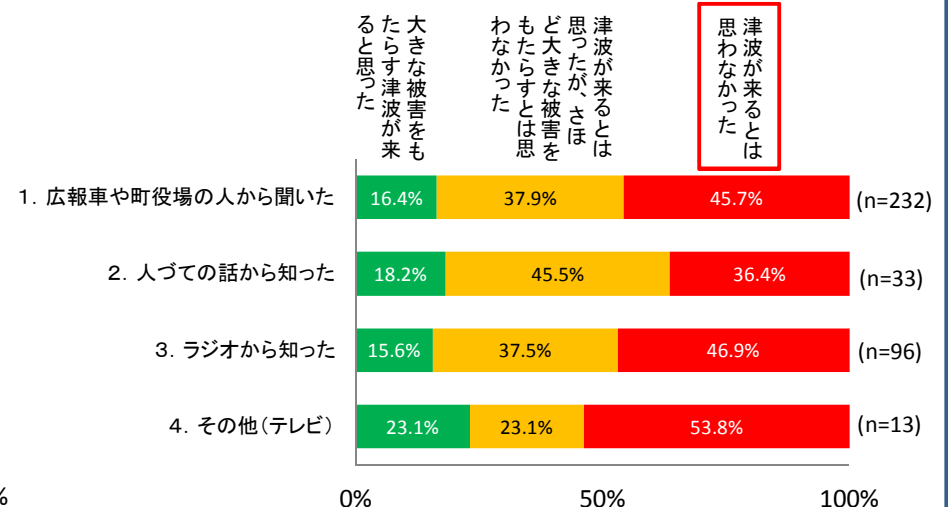
津波に対する避難指示の覚知 (n=652)



津波警報に対する対応行動率 (n=374)



津波情報接触メディア別の津波の規模予想



『1982年浦河沖地震と住民の対応』(東京大学新聞研究所報告書(1982))(抜粋)

浦河町では、過去何度も津波警報が発令されているが、津波による重大な被害を受けた経験がない。せいぜい被害のあったのはチリ地震津波ぐらいで、この時も港の船が被害を受けた程度であった。最近では昭和55年に津波注意報が2度発令され、同年2月23日には津波警報も出ている。しかしこの時にも被害は全くなかった。そのため、今回の地震で津波警報が発令されたと聞いても、住民は大きな津波が来襲すると予想しなかったのかもしれない。

# 近年の津波避難時の行動・意識(1983年日本海中部地震)

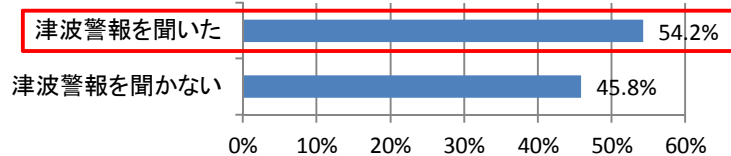
- ・津波警報を見聞きした人は約50%であり、**避難した人は4%弱**であった。
- ・津波警報を見聞きした人の約40%は、津波が来るとは思わなかったと回答しており、その理由として、「**津波など考えてもみなかった**」が最も多い。

## 1983年日本海中部地震における調査結果

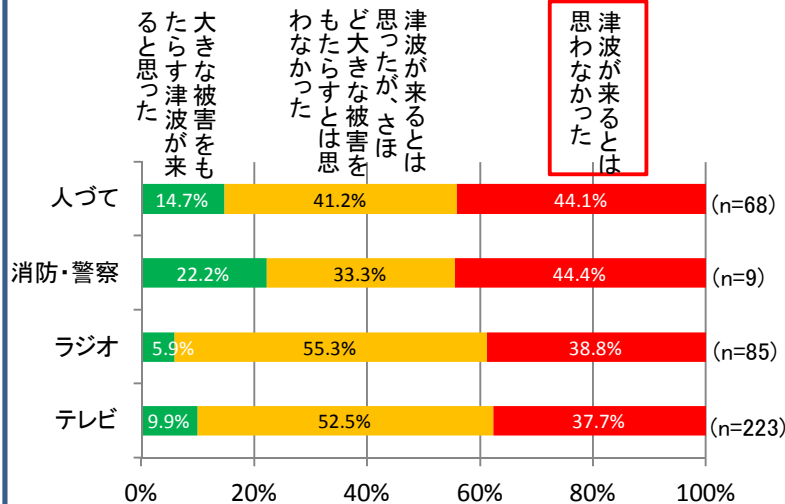
出典『1983年5月日本海中部地震における災害情報の伝達と住民の対応』(東京大学新聞研究所報告書、1985)

【調査対象】能代市に居住する20歳～69歳の男女1,000名。※能代市：震度5を観測。津波による死者は36名。

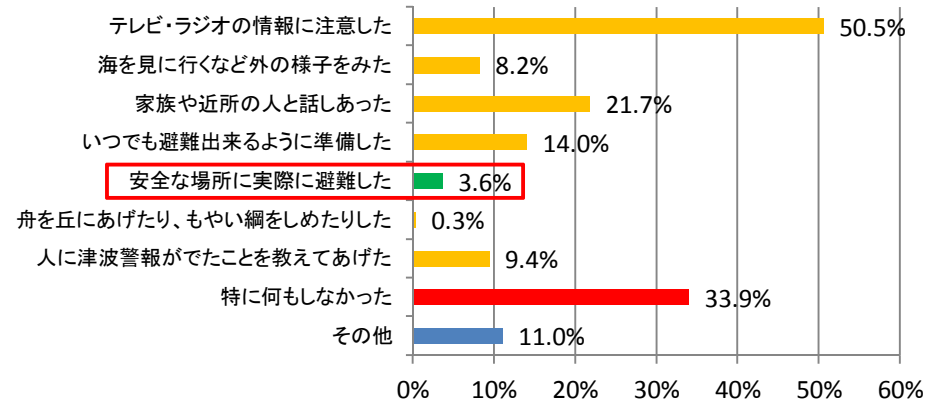
津波警報聴取の有無(N=723)



津波情報接触メディア×警報の受けとめ方



津波警報に対する対応行動率 (n=351:複数選択)



津波が来ると思った理由、思わなかった理由

	思った理由 (n=39)	思わなかった理由 (n=351)
地震が大きかったから	61.5%	津波など考えてもみなかった 49.9%
マスコミの情報から	10.3%	自分の経験から 14.5%
自分の経験から	10.3%	まわりの状況からみて 11.7%
よそからの指示で	5.1%	人の話から 10.8%
まわりの状況からみて	5.1%	地理的にみて能代市は津波に強いから 10.3%
人の話から	5.1%	その他 2.8%
その他	5.1%	不明 1.4%
地理的にみて能代市は津波に弱いから	2.6%	よそからの指示で 0.6%

# 近年の津波避難時の行動・意識(1993年北海道南西沖地震)

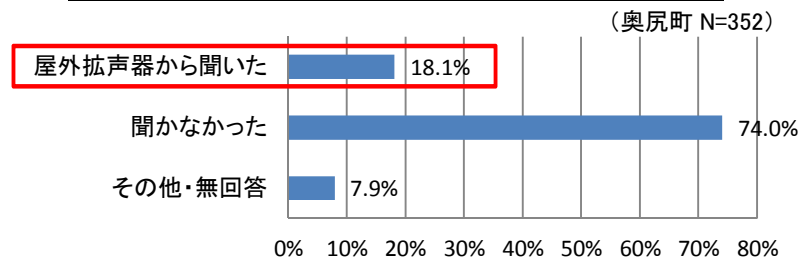
- ・奥尻町において、地震数分後に行われた避難の呼びかけの放送を聞いた人は約20%であるが、約80%の人が津波到達前に避難している。
- ・避難を決断したきっかけとして、「1983年日本海中部地震の津波の経験からの判断」が最も多い。(奥尻町では1983年日本海中部地震の津波により2名の犠牲者が出ている)

## 1993年北海道南西沖地震における調査結果

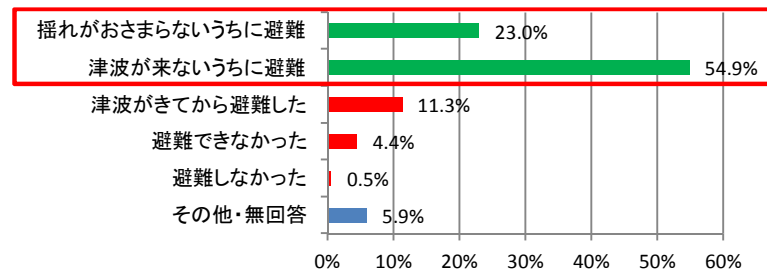
出典:『平成5年北海道南西沖地震における住民の対応と災害情報の伝達』(東京大学社会情報研究所報告書、1994)

【調査対象】奥尻町青苗地区の仮設住宅の204名。※奥尻町において津波・火災・土砂崩れ等による死者・行方不明者198名。

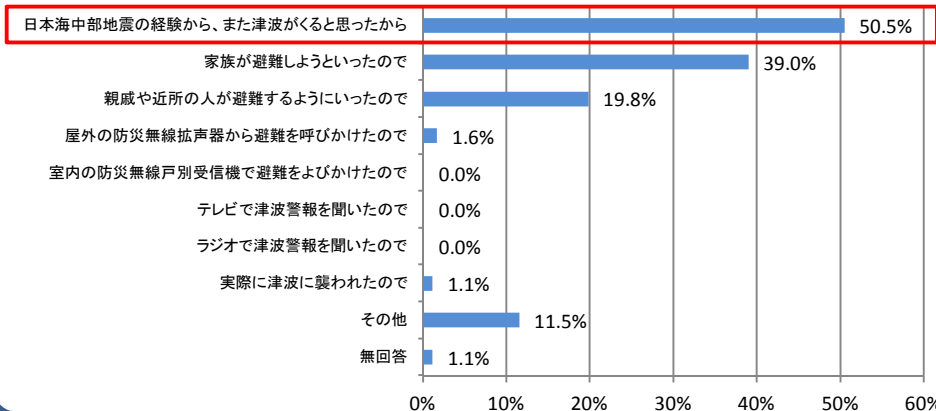
避難を呼びかける同報無線(防災無線)放送を聞いたか



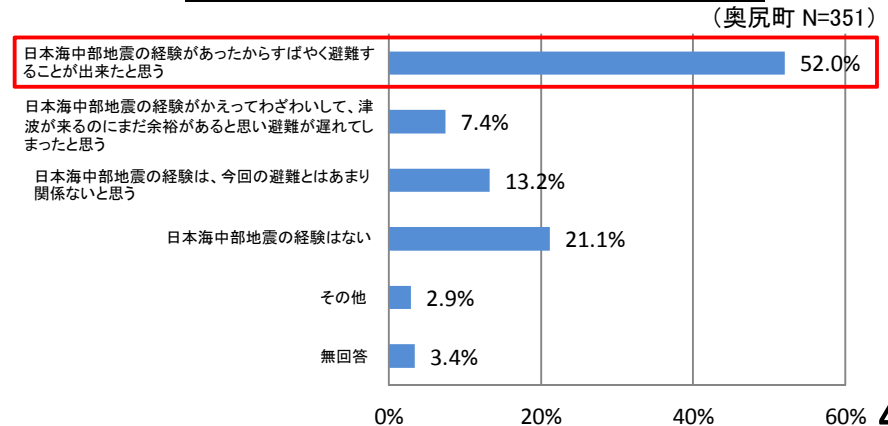
避難の時期 (奥尻町 N=204)



避難を判断したきっかけ (奥尻町 N=182)



日本海中部地震の経験が避難行動に影響したか



# 近年の津波避難時の行動・意識(2003年十勝沖地震)

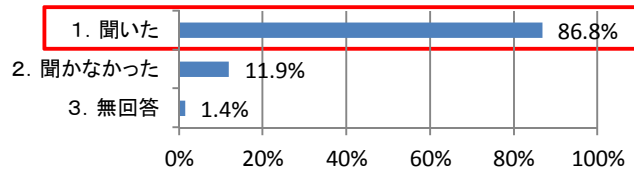
- ・津波警報を聞いた人は約90%であり、避難した人は約60%であった。
- ・避難したきっかけは「地震の揺れ」「津波警報」が最も多い。
- ・避難しなかった理由は「その時いた場所が危険と思わなかった」が約60%であり、「堤防を越える津波は来ないと思った」は約21%だった。

## 2003年十勝沖地震における調査結果

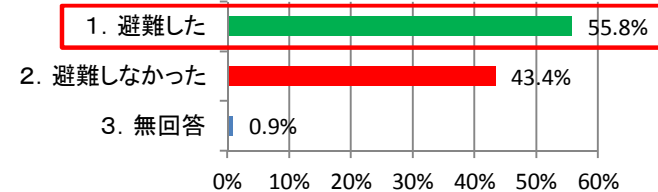
出典:『2003年十勝沖の地震における津波避難行動—住民聞き取り調査を中心に—』(東京大学情報学環調査報告書、2005)

【調査対象】津波警報が発表された北海道沿岸8市町の住民2,500人。※津波により十勝川河口付近で行方不明者2名。

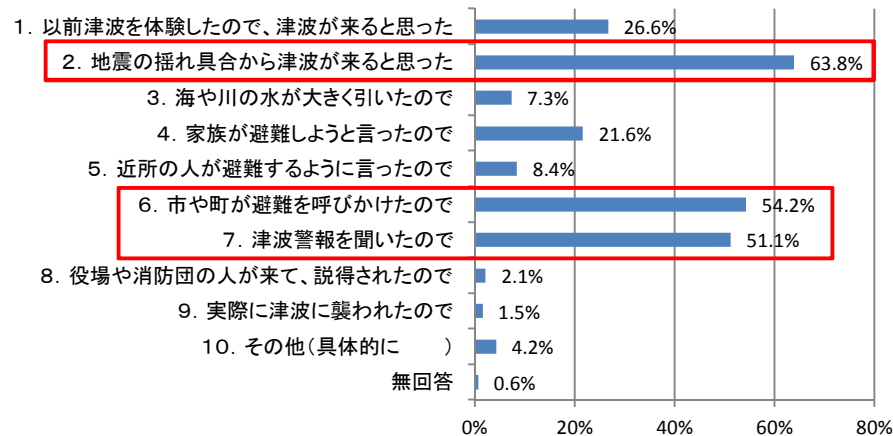
問12 次に、津波警報についてお聞きします。今回の地震では、地震の6分後に津波警報がでました。あなたは、地震直後、この警報をお聞きになりましたか。(〇はひとつ) (n=936)



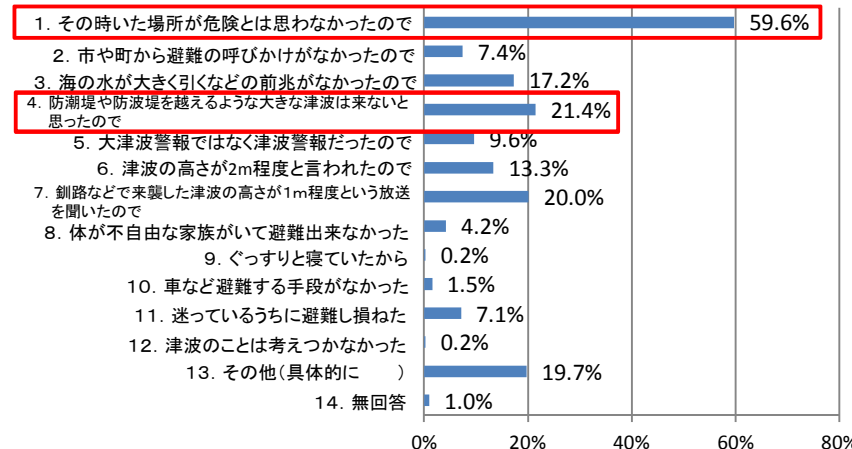
問16 では、地震の直後、あなたは実際避難しましたか。(〇はひとつ) (n=936)



付問7 あなたが避難したきっかけは何でしたか。(〇はいくつでも) (n=1,261)



付問1 あなたはなぜ避難しなかったのですか。(〇はいくつでも) (N=741)



## 近年の津波避難時の行動・意識(2006年、2007年千島列島東方の地震)

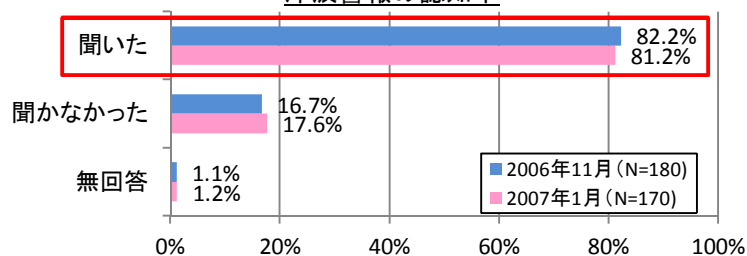
- ・2006年、2007年の地震ともに津波警報は約80%の人が見聞きしている。
- ・**2006年の津波において避難した人は約半数であり、2007年の津波は約30%**である。
- ・避難しなかった理由は、「その時いた場所が危険とは思わなかった」が最も多く、2007年には**「2006年の津波がたいしたことなかった」**が35%程度となっている。

### 2006年、2007年千島列島東方の地震における調査結果

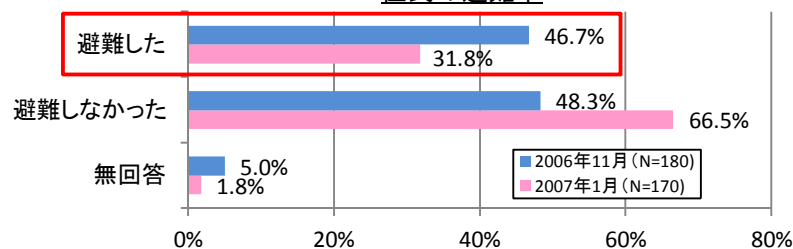
出典：『2006年及び2007年にオホーツク海沿岸地域に出された津波警報の伝達と住民の対応』(災害情報調査研究レポート⑭吉井博明、中村功、中森広道、地引泰人)

【調査対象】津波警報が発表された地域の中で津波危険度が高い地域(根室市、網走市、釧路市にアンケート配布600)。

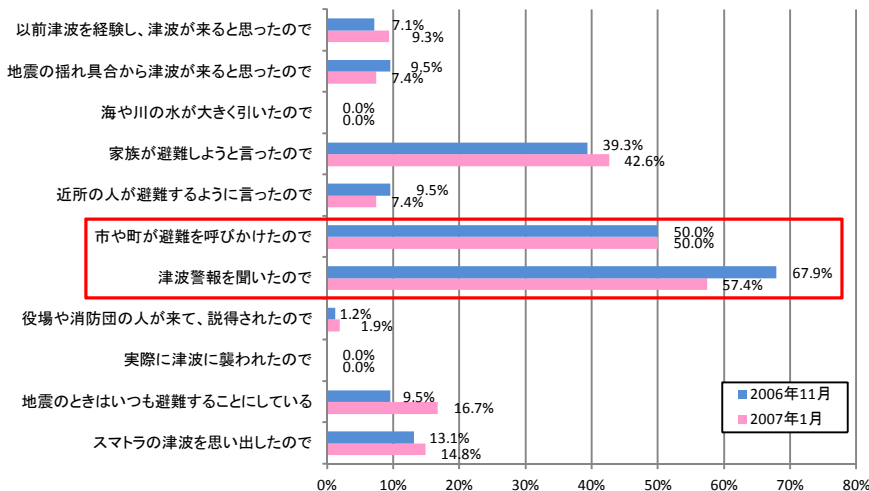
津波警報の認知率



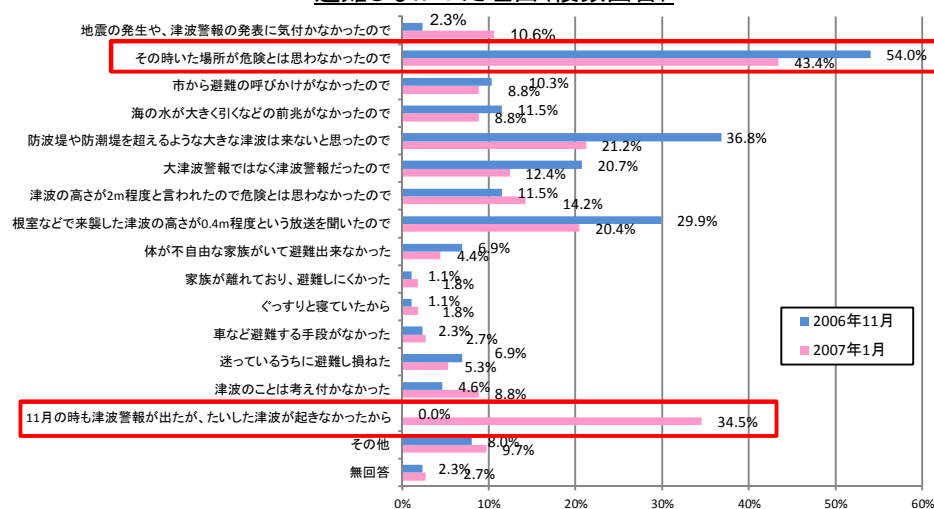
住民の避難率



避難のきっかけ(複数回答)



避難しなかった理由(複数回答)



# 近年の津波避難時の行動・意識(2010年チリ中部沿岸の地震①)

## 避難行動

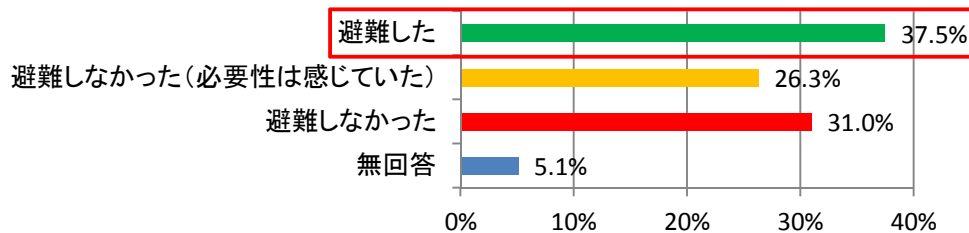
- ・**避難した人は、約40%**であり、避難のきっかけは「避難の呼びかけ」「過去の経験」「大津波警報」が多く挙げられている。
- ・**避難しなかった理由は、「高台など、津波により浸水する恐れのない地域にいたと思った」が約50%と最も多く、「海岸に堤防があるので津波は来ない」と思った人は約10%であった。**

## 2010年チリ中部沿岸の地震における調査結果

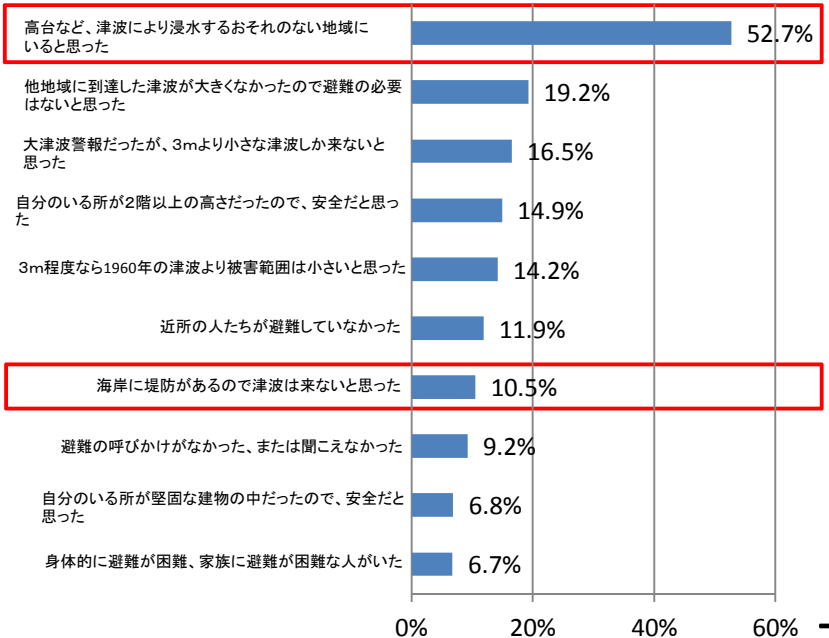
出典:チリ中部沿岸を震源とする地震による津波避難に関する緊急住民アンケート調査(内閣府、消防庁、2010)

【調査対象】大津波警報が発表された青森・岩手・宮城県の36市町村の中で、避難指示・勧告が発令された地域の住民5,000名へのアンケート。

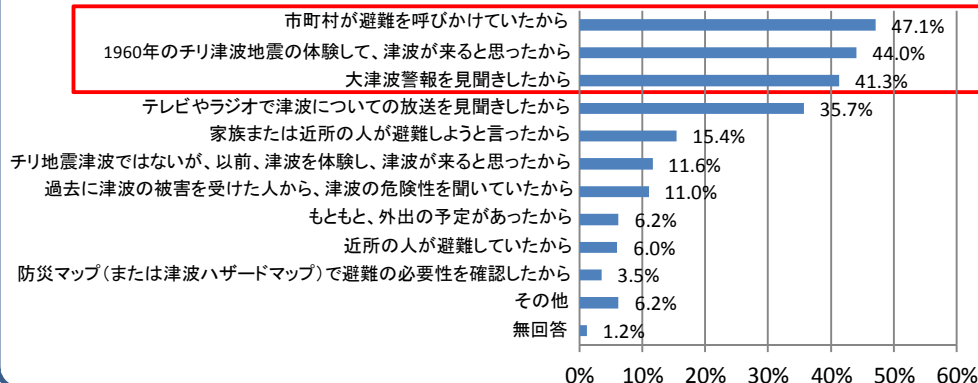
避難率 (n=2,700)



避難しなかった理由(n=1,151:3つまで回答可)



避難した理由 (n=753:3つまで回答可)





# 近年の津波避難時の行動・意識(2010年チリ中部沿岸の地震②)

## 大津波警報の見聞き

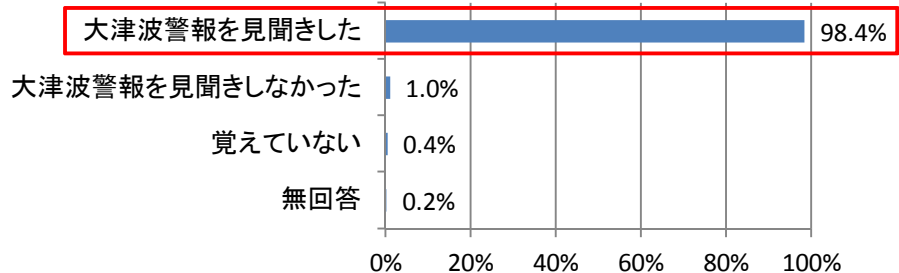
- ・大津波警報については、ほとんどの人が見聞きしており、入手手段は「テレビ」が最も多い。
- ・大津波警報(3m)を見聞きした人のうち、「3m以上の津波」を予想した人は約15%、「3m以下の津波」を予想した人は約40%、「津波は来ない」は約3%だった。

## 2010年チリ中部沿岸の地震における調査結果

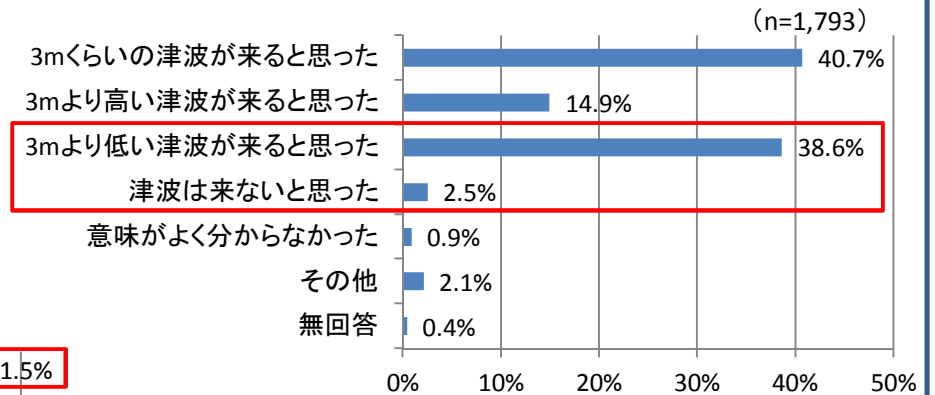
出典:チリ中部沿岸を震源とする地震による津波避難に関する緊急住民アンケート調査(内閣府、消防庁、2010)

【調査対象】大津波警報が発表された青森・岩手・宮城県の36市町村の中で、避難指示・勧告が発令された地域の住民5,000名へのアンケート。

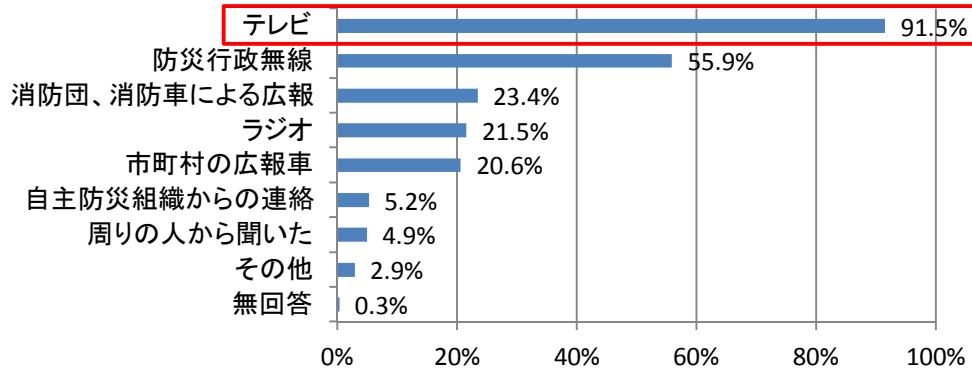
### 大津波警報の認知率 (n=2,007)



### 大津波警報(3m)を見聞きして思ったこと (n=1,793)



### 大津波警報の入手媒体 (n=1,974)



# 近年の津波避難時の行動・意識(2010年チリ中部沿岸の地震③)

## 海岸堤防に対する意識

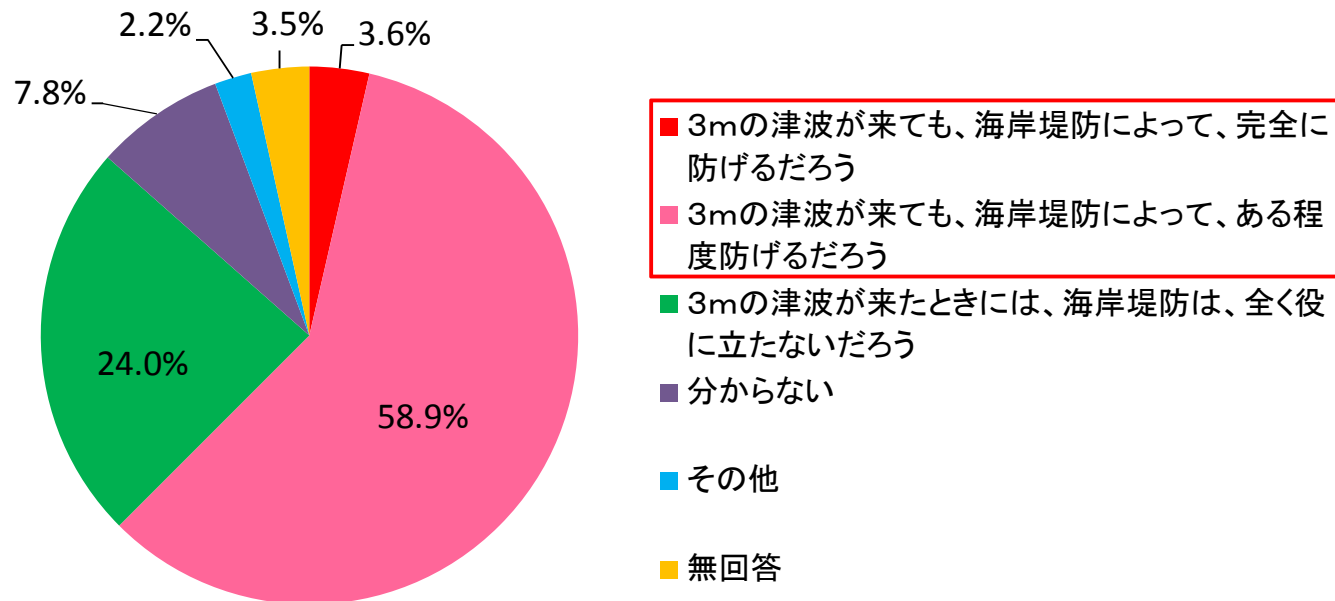
・3mの津波に対し、「海岸堤防で完全に防げる」と考えている人は4%程度であり、「ある程度防げる」と考えている人は約60%である。

## 2010年チリ中部沿岸の地震における調査結果

出典:チリ中部沿岸を震源とする地震による津波避難に関する緊急住民アンケート調査(内閣府、消防庁、2010)

【調査対象】大津波警報が発表された青森・岩手・宮城県の36市町村の中で、避難指示・勧告が発令された地域の住民5,000名へのアンケート。

問27 海岸の堤防の効果について、あなたはどのように考えますか？  
(当てはまるもの1つを○で囲んで下さい) (n=2,007)



# 近年の津波避難時の行動・意識(2010年チリ中部沿岸の地震④)

## 災害時要援護者

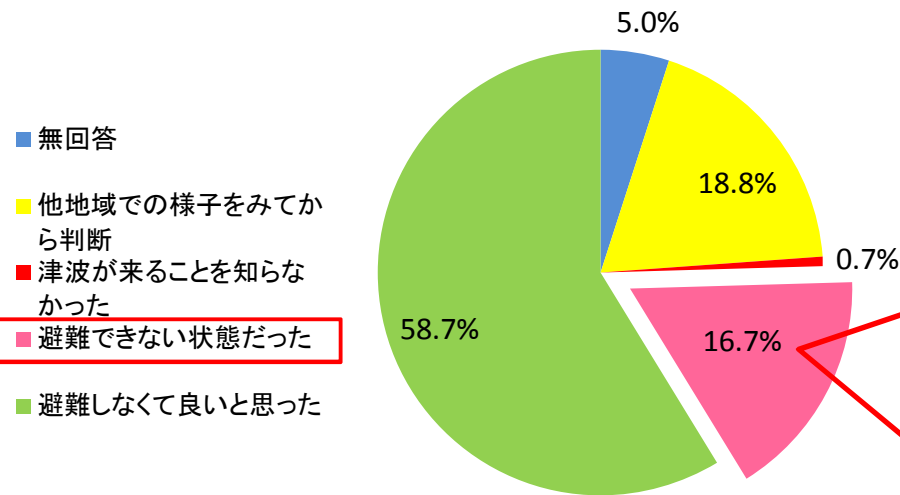
・岩手県の調査において、避難しなかった理由のうち、約20%が「避難できない状態だった」と回答しており、「避難できない状態だった」理由として、「自分自身、家族が高齢・病気のため」が30%強である。

## 2010年チリ中部沿岸の地震における調査結果

出典：2010年チリ地震津波における避難行動に関するアンケート(岩手県、岩手大学、2010)

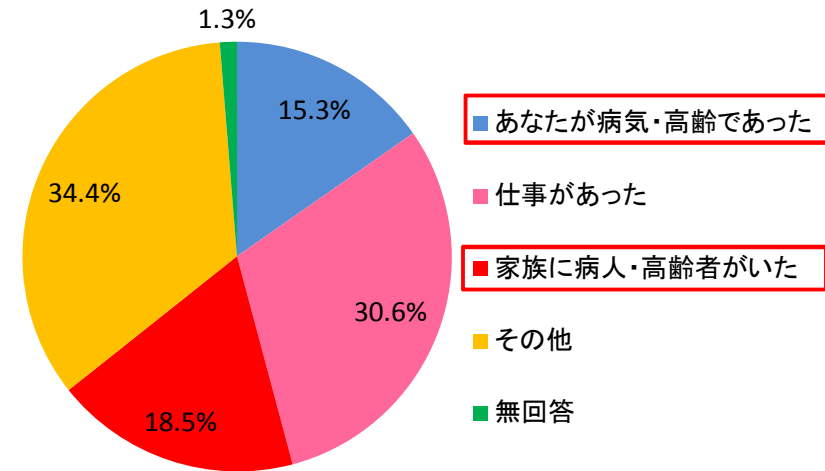
【調査対象】岩手県沿岸地区市町村のうち、避難指示・勧告が発令された世帯(3,732世帯)へのアンケート。

避難しなかった理由(n=939)



避難できなかった状態であった理由の内訳

(n=157)



# 今回の津波避難時の行動・意識(2011年東北地方太平洋沖地震①)

## 避難のタイミング

- ・避難所にいる人への調査において、すぐに避難した人は釜石市で約70%、名取市で約60%であった。
- ・すぐには避難しなかった人が避難を始めた時間は、平均で釜石市で約14分、名取市で約37分であった。

## 東北地方太平洋沖地震についての調査(速報)

出典:『東北地方・太平洋沖地震、津波に関するアンケート調査分析速報』(NPO法人 環境防災総合政策研究機構、東洋大学)

【調査対象】岩手県釜石市113名、宮城県名取市105名。調査方法は避難所における訪問面接方式(※)

※調査員が、アンケート調査票を持参し了解を取った上で被災者ご本人と一問一答方式でやりとりする方式

問15 地震直後に避難したか

	合計		釜石市		名取市	
	(名)	(%)	(名)	(%)	(名)	(%)
調査数	218	100.0	113	100.0	105	100.0
すぐに避難した	135	61.9	75	66.4	60	57.1
避難したが、すぐには避難しなかった	63	28.9	30	26.5	33	31.4
避難していない	20	9.2	8	7.1	12	11.4

付問15.4 地震の揺れがおさまってから何分後に避難しはじめたか

	合計		釜石市		名取市	
	(名)	(%)	(名)	(%)	(名)	(%)
調査数	63	100.0	30	100.0	33	100.0
10分以下	24	38.1	18	60.0	6	18.2
11~20分	15	23.8	8	26.7	7	21.1
21~30分	12	19.0	2	6.7	10	30.3
31~60分	10	15.9	2	6.7	8	24.2
61分以上	2	3.2	0	0.0	2	6.1
平均(分)	25.89		14.00		36.70	

## 今回の津波避難時の行動・意識(2011年東北地方太平洋沖地震②)

### 避難行動

- ・最初の避難場所からさらに避難した人は、釜石市で約半数、名取市で約70%であった。
- ・最終の避難場所まで行くのにかかった時間は、釜石市で約32分、名取市で約24分であった。

### 東北地方太平洋沖地震についての調査(速報)

出典:『東北地方・太平洋沖地震、津波に関するアンケート調査分析速報』(NPO 法人 環境防災総合政策研究機構、東洋大学)

【調査対象】岩手県釜石市113名、宮城県名取市105名。調査方法は避難所における訪問面接方式(※)  
 ※調査員が、アンケート調査票を持参し了解を取った上で被災者ご本人と一問一答方式でやりとりする方式

付問15.6 さらに避難した場所

	合計		釜石市		名取市	
	(名)	(%)	(名)	(%)	(名)	(%)
調査数	198	100.0	105	100.0	93	100.0
最初に避難した高台よりさらに高い場所	64	32.3	45	42.9	19	20.4
ビルのさらなる上層階	1	0.5	0	0.0	1	1.1
ビルの屋上	1	0.5	0	0.0	1	1.1
津波の危険がない、屋外の高台	15	7.6	11	10.5	4	4.3
自宅の屋根の上	0	0.0	0	0.0	0	0.0
最初に避難した場所に留まった	74	37.4	47	44.8	27	29.0
最終避難場所の上層階	39	19.7	0	0.0	39	41.9
不明	4	2.0	2	1.9	2	2.2

付問15.7 最終の避難場所に行くまでにかかった時間(分)

	合計		釜石市		名取市	
	(名)	(%)	(名)	(%)	(名)	(%)
調査数	198	100.0	105	100.0	93	100.0
10分以下	89	44.9	47	44.8	42	45.2
11～20分	42	21.1	24	22.9	18	19.4
21～30分	26	13.1	10	9.5	16	17.2
31～60分	24	12.1	12	11.4	12	12.9
61～120分	7	3.5	6	5.7	1	1.1
121～180分	3	1.5	2	1.9	1	1.1
181分以上	4	2.0	3	2.9	1	1.1
不明	3	1.5	1	1.0	2	2.2
平均(分)	28.3		32.09		23.98	

## 今回の津波避難時の行動・意識(2011年東北地方太平洋沖地震③)

### 大津波警報の見聞き

- ・大津波警報を見聞きした人は、釜石市で約80%、名取市で約96%であった。
- ・見聞きした大津波警報の予想津波高は、釜石市で3mが最も多く、名取市では6mが最も多い。

### 東北地方太平洋沖地震についての調査(速報)

出典:『東北地方・太平洋沖地震、津波に関するアンケート調査分析速報』(NPO法人 環境防災総合政策研究機構、東洋大学)

【調査対象】岩手県釜石市113名、宮城県名取市105名。調査方法は避難所における訪問面接方式(※)  
 ※調査員が、アンケート調査票を持参し了解を取った上で被災者ご本人と一問一答方式でやりとりする方式

#### 付問11.1 聞いた情報と入手先(聞いた情報の内容)

	合計		釜石市		名取市	
	(名)	(%)	(名)	(%)	(名)	(%)
調査数	120	100.0	69	100.0	51	100.0
大津波の警報	107	89.2	58	84.1	49	96.1
予想される津波の高さ	61	50.8	40	58.0	21	41.2
観測された津波の高さ	6	5.0	4	5.8	2	3.9
「避難に関する情報」等の呼びかけ	28	23.3	10	14.5	18	35.3
聞かなかった	0	0.0	0	0.0	0	0.0

#### 付問11.1 聞いた情報と入手先(大津波警報の入手先)

	合計		釜石市		名取市	
	(名)	(%)	(名)	(%)	(名)	(%)
調査数	107	100.0	58	100.0	49	100.0
テレビから	8	7.5	3	5.2	5	10.2
ラジオから	26	24.3	7	12.1	19	38.8
防災無線から	47	43.9	45	77.6	2	4.1
車のテレビ(カーナビ)から	0	0.0	0	0.0	0	0.0
携帯電話のワンセグ放送から	5	4.7	2	3.4	3	6.1
携帯電話のメールから	1	0.9	1	1.7	0	0.0
消防車か役場の広報車から	18	16.8	6	10.3	12	24.5
家族や近所の人から	14	13.1	2	3.4	12	24.5
警察や消防の人から	2	1.9	0	0.0	2	4.1
不明	2	1.9	0	0.0	2	4.1

#### 予想される津波の高さ

	合計		釜石市		名取市	
	(名)	(%)	(名)	(%)	(名)	(%)
調査数	61	100.0	40	100.0	21	100.0
1m	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2m	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3m	32	52.5	30	75.0	2	9.5
4m	4	6.6	4	10.0	0	0.0
5m	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6m	11	18.0	2	5.0	9	42.9
7m	1	1.6	0	0.0	1	4.8
8m	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9m	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10m	8	13.1	0	0.0	8	38.1
11m以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明	5	8.2	4	10.0	1	4.8

## 今回の津波避難時の行動・意識(2011年東北地方太平洋沖地震④)

### 津波ハザードマップ

- ・津波ハザードマップを見たことがない人は、釜石市で約70%、名取市で約80%であった。

### 東北地方太平洋沖地震についての調査(速報)

出典:『東北地方・太平洋沖地震、津波に関するアンケート調査分析速報』(NPO 法人 環境防災総合政策研究機構、東洋大学)

【調査対象】岩手県釜石市113名、宮城県名取市105名。調査方法は避難所における訪問面接方式(※)  
 ※調査員が、アンケート調査票を持参し了解を取った上で被災者ご本人と一問一答方式でやりとりする方式

#### 問21 津波ハザードマップについて(地震前)

	合計		釜石市		名取市	
	(名)	(%)	(名)	(%)	(名)	(%)
調査数	218	100.0	113	100.0	105	100.0
自宅の壁などに貼っていた	15	6.9	5	4.4	10	9.5
自宅において、たまに見ていた	16	7.3	15	13.3	1	1.0
自宅においていたが、ほとんど見ていない	28	12.8	15	13.3	13	12.4
見た覚えがない	158	72.5	77	68.1	81	77.1
不明	1	0.5	1	0.9	0	0.0

#### 問22 津波防災マップやハザードマップにおける自宅の浸水予想

	合計		釜石市		名取市	
	(名)	(%)	(名)	(%)	(名)	(%)
調査数	218	100.0	113	100.0	105	100.0
浸水が予測されていた	19	8.7	10	8.8	9	8.6
浸水しないことになっていた	38	17.4	34	30.1	4	3.8
分からない	152	69.7	65	57.0	87	82.9
その他	8	3.7	4	3.5	4	3.8
不明	1	0.5	0	0.0	1	1.0